



明治大学校友会

2023年7月10日発行

国分寺地域支部

会報第25号

編集 同支部編集委員会  
発行 国分寺地域支部



第16回国分寺地域支部の定時総会・懇親会が三年振りの対面開催、49名の皆様にご参加頂きました。

# 会場に力強く響き渡る明大校歌の斉唱

第16回国分寺地域支部の定時総会・懇親会が5月3日(水・祝日)、国分寺駅前 cocobunji WEST 5階「リオンホール」で開催されました。第13回～第15回の3回の定時総会・懇親会がコロナ感染症拡大に伴い、全て書面での開催になり、今回は三年振りの対面での開催が出来ました。

久しぶりにお会いできた方も多いと思いますが、会員の皆様に来賓の方を入れまして、総勢49名の大勢の皆様にご参加頂き、これまでにない盛大な催しが出来ました。会員総会は、堅山富美子幹事の司会、芦田隼人幹事の議長により、議事が進められ、全ての議案が承認されました。

引き続き行われた「懇親会」は、宮原修司幹事の名司会で進められ、今回は、エキシビジョンとして、①明大空手部員と

篠崎裕美(平10・文)主宰「多摩明誠会」の皆様による「空手の演武」②三名のフラダンスの先生の「ロコマイカイ・フラ・シスターズ」の妖艶な演技(飯田由美(昭48・文)の解説つき)③今回の定時総会で三回目のほぼレギュラー出演のサクソフォン四重奏の名演奏、の豪華三つの催しが行われました。

その後、大抽選会も行われ、締めめの校歌斉唱は、徳田隆洋幹事のエール、望月啓介監査委員の太鼓が加わり、会場いっぱい「明大校歌」の歌声が力強く、響き渡りました。今回ご参加出来なかった方は、来年は是非足を運んでください。

新会員のご紹介：小柳文男(昭43・商)東元町、丹治泰雄(昭55・商)富士本、奥井隆(昭59・政経)光町、鈴木聖仁(昭63・政経)戸倉



GoTo 早慶 MARCH 塾の由来は、私の後藤と GoTo (ゴートゥー) をかけています。文字通り早慶 MARCH 専門塾です。



5月10日(ゴトーの日)にプレ開校し、6月5日に正式開校いたしました。

現在、塾生数は継続生を含めて24名(7月3日現在)。おかげさまで、地域の方々に愛着を持っていただき、予想を超える人数が入塾してくれています。

国立駅や郵便局にポスターを貼ったり、くにたち市報や国分寺市報に掲載したり、ラインVOOMやフェイスブック等ブログを日々更新し、生徒や保護者インタビュー動画も公開し、認知されつつあります。地域では、特に、十小や二小、五中から多くの子が来てくれています。半分程度は知り合いの紹介によるもので本当に有難い限りです。また、評判を聞いて、日野や府中、小平といった地域からも来てくださっています。

講師が自慢で、平均年齢45.8歳、指導歴20年以上の「本物の講師」がウリです。とにかく授業がめちゃくちゃわかりやすいです。学生講師が多くいる大手塾とは異なり、「本物の講師」が直接指導してもらえるのが評判になっていると感じます。やはり、体験に来た子が帰る時に笑顔になるこの瞬間が嬉しく、その笑顔の表情が実にいいです。

私は、早稲田大学中退で明治大学卒業と異色の経歴ですが、明大卒を誇りに思っています。他の講師の早稲田、法政等早慶 MARCH 出身者が多く、早慶 MARCH が身近に感じられるのもいいかもしれません。

身近といえば、ガラスには、早慶 MARCH の T シャツが飾られ、GoTo 早慶 MARCH 塾の風船も置いています。我々講師は、早稲田、慶応、明治、青山学院などの T シャツを着て授業をしていますので、早慶 MARCH が本当に身近に感じられます。

現在、教室は2つですが、人数も予想以上に増えてきており、高校生の集団クラスも新設したため、3つの教室の工事も夏休み前に依頼しています。

私が5月10日プレ開校以来、休みもなく働いています。自習室は、365日解放しますと宣言していますので、どうしても休めないのです。ただ、これからは少しは休みながらリフレッシュもしていきたいと思います。

なにより地域の方々に愛される教室を目指します。明治の校歌を口ずさみながら、日々リゲインを飲んでエンジン全開頑張ります!!

GoTo 早慶 MARCH 塾のチラシを同封させて頂きました。

当塾では、絶対に後悔させません。是非お任せ下さい。



## 大谷 翔平

夏至が過ぎ、暑さが骨身に伝わる方もいると思います。でも私は、夏が一番好きです。65歳を過ぎ、昔の事をしばしば思い出すようになりました。何か、不吉な予感もしますが、それらは総て夏のことです。

中でも夕暮れ時の「ひぐらし」の鳴き音は、何とも感慨深いものです。今は聞くことは出来なくなりました。

前置きが長くなってしまいました。私が、一番感動しているのは、大谷翔平さんです。彼は、全てを超越しています。

もしかしたら、神ではないかと思ってしまいます。現地アメリカのメディアも、彼の数々の偉業に対し、神と称える様になってきました。野球は、彼の存在を具体化しています。

今後、彼を越える人は出ないと感じます。なぜなら彼の人間性は、まさしく聖人の域です。

ワールドベースボールのアメリカ戦の前、チームメイトに言いました。

## 坂本邦彦(昭55・文)

「今は憧れるのをやめましょう。憧れると相手を越えられません」。その結果、日本はあのアメリカを破りました。しかも野球発祥の地です。

私の人生で最大の喜びであり、感動です。

スポーツは、全てを越えるとはこの事です。大谷さんは常に他を「気遣い」、「謙虚」であり、そして「尊重」しています。これが日本チームを一丸とさせ、夢が現実となりました。

大谷さんは、7月5日で29歳となりました。彼がどのようなになっていくのか計り知れません。

大谷回顧録になってしまいました。

でも、幾つになっても、人に夢や希望を与えられる存在になれるよう生きたいものです。

拙筆、大変失礼しました  
(現 坂の上幼稚園 理事長)



## 四国八十八ヶ所と高野山巡りの巡礼 柴原 力 (昭38・工)

昨年(2022年)10月31日から6日間かけて、四国八十八ヶ所巡礼のうち約半分、一番礼所の阿波・靈山寺を出発し、47番礼所の伊予・八坂寺迄の半周のお参りをし、松山駅から帰京しました。同行した年寄り3名は、体力的に半周ですが、8人乗りタクシーでの残り5名は、八十八ヶ所と高野山巡りをする若い人達でした。流石、体力がありますね！

さて、今回は、残り半周の巡礼ですが、松山駅でのピックアップに備え、前日東京駅を出発し、駅近くのライトアップされた松山城が見えるホテルに夕方到着し、明日からの巡礼に向けて準備をしました。2023年5月13日、松山駅にて、前回の半周と同じ8人乗りタクシーに乗り、後半の巡礼が始まりました。この車は、半周の人は、2回に分け、八十八ヶ所と高野山巡り、全周の人は、11日間かけて、高野山迄の巡礼になりますが、今回の巡礼は、松山駅で半周の人が3名下車し、半周の人が3名乗車し、8名中5名は、全周八十八ヶ所と高野山巡りの人達でした。

後半は、48番礼所から88番礼所まで周る比較的平坦で、階段も少ないので楽でした。前回は、タクシーを下車しても礼所までの歩きの距離が長く、階段の段数も多い礼所が数ヶ所あり、苦勞しました。一行は、先達の資格を持つ運転手の他、北海道、大阪、神奈川、東京と色々な地方から、また、男性4人、女性4人でしたが、直ぐに打ち解け、快適な旅でした。

1日目は、松山駅を1時に出発し、48番西林寺から54番延命寺迄7ヶ所を巡り、5時30分頃「今治国際ホテル」に到着し、夕食6時30分・入浴・就寝と比較的ハードな行程です。

2日目は、朝6時30分朝食、7時30分集合・出発し、45番礼所から64番礼所と10ヶ所を巡り、5時30分頃「リーガルロイヤルホテル新居浜」に到着、前日と同じスケジュールで順調に進みました。夕食前は、修行に来ているのだからビール一杯で我慢しました。

3日目は、65番三角寺から75番善通寺迄の11ヶ所巡りですが、65番三角寺は、階段と長歩きで辛かった。66番雲辺寺は、ロープウェイで頂上近くまで行きましたが、歩き遍路だと大変な難所です。いよいよ伊予から私の生まれ故郷、讃岐に入って来ましたが、平坦な讃岐平野は、のどかでした。

礼所では、山門を左側より一礼をして、境内に入り、手水場で手を清め、本堂・大師堂に参拝します。本堂では、灯明台にローソク一本、お線香三本を立て、納札箱へ納札を一枚差し入れます。お賽銭をあげ、合掌礼拝、左手に念珠、般若心経の一辺読経、御本尊真言・光明真言・御宝号を各三辺唱え、回向文を一辺唱え、最後にありがとうございます、と述べ、合掌、一礼する。これを本堂・大師堂と一礼所で二回行うので、結構、時間がかかります。

昼食は、もちろん讃岐うどんです。先達さんが、行列のできる美味うどん屋に案内してくれます。

今日の宿は、「オークラホテル丸亀」に予定通り、5時30分到着、このホテルは、瀬戸大橋の吊り橋が綺麗に見える場所に建築されていました。

4日目は、76番礼所から85番八栗寺の10ヶ所参りです。私は、高松市に生まれ、しかし、高松市に空襲があると云う事で、八栗寺近くに疎開していましたが、まだ小さかったせいか、どの付近か全然覚えていませんでした。この日の宿は、「高松国際ホテル」で、夕方5時30分頃着きました。生家とは、大分離れていますが、折角、高松にいたのであれば、随分ご無沙汰している父母の墓参りをして来ました。夕方で花屋も閉まっており、手ぶらでお墓の掃除のみとしました。ホテルに帰り、夕食に間に合い、皆さんは私がどこに行っていたのか不思議そうにしていました。

5日目は、86番志度寺から88番大窪寺。今日で、四国八十八ヶ所参り「結願」です。

**「結願」、けちがんと発音し、お遍路用語で八十八ヶ所を全てお参りし、終えることです。**

これからいよいよ高野山に向います。鳴門大橋～淡路島～明石大橋を渡り、大阪を通過し、高野山に向いましたが、途中、淡路島のインターチェンジで昼食をとり、3時頃高野山に着き、名所・旧跡巡りして、5時30分頃、「三宝院宿坊」に着きました。部屋は、和室でトイレ・テレビ無し、布団敷きで寝ます。今迄のホテルとは違い、夕食は、精進料理で、修行中の身体なので、ビールは一杯のみとし、就寝です。

6日目は、今日が、このツアーの最終日で、高野山奥の院からお参りをし、四国八十八ヶ所と高野山参りの「満願」です。皆さんは、ここで満願の免状を有料で受け取り、写真を撮っています。「満願」とは、お遍路用語で四国八十八ヶ所を「結願」し、高野山の奥の院に参拝すると「満願」になります。

最後にタクシーは、広島サミットの影響で、高速道路が封鎖され、時間がかかりましたが、新幹線・新大阪駅まで送ってくれ、解散しました。私達は、折角、関西迄来たので、琵琶湖西岸の古戦場跡の見学して行くつもりで、彦根に宿を取りましたが、生憎、翌日は大雨でどこにも行けず、帰京しました。なお、お遍路をしたい方は、「(株)旅ネット四国」を紹介しますが、大手の旅行会社と違い、四国迄の交通機関は、自分で確保しなければいけない等の面倒があります。

高野山・三宝院宿坊山門前で

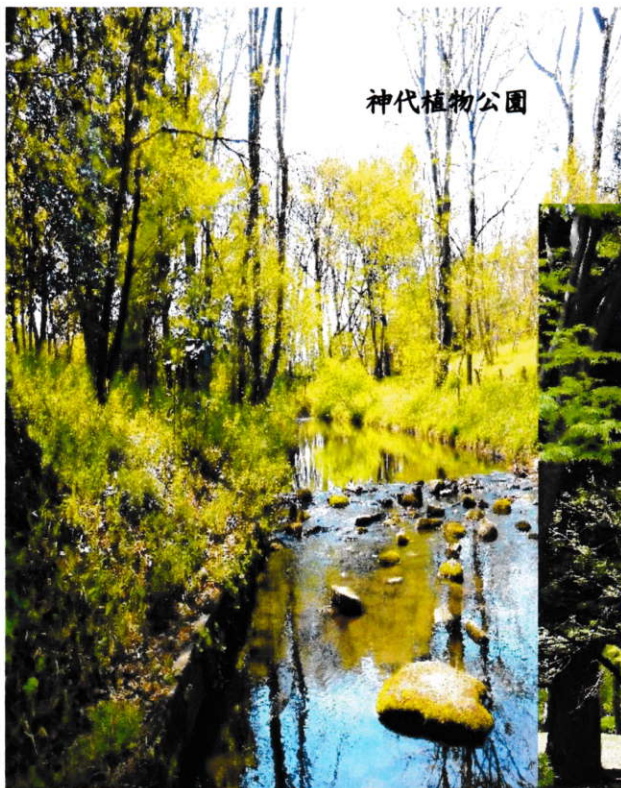


# 私の散歩道

～出淵恵介 (昭40・工)



武蔵野の森



神代植物公園



武蔵野の森

郷土の森公園

(撮影：出淵恵介)

